

研究報告

【2018年度～2022年度】

教員名	植田 尚樹
所属	国際文化学部
学位	博士（文学）
専門分野	音声学、音韻論、モンゴル語
研究テーマ	アルタイ諸言語の音韻論
所属学会	日本言語学会、日本音声学会、日本音韻論学会、日本モンゴル学会、日本北方言語学会、Altaic Society of Korea、日本比較文化学会
研究活動 及び 社会活動	<p>①学術書／学術論文</p> <ol style="list-style-type: none"> 「モンゴル語の枝分かれ構造とピッチパターンに関する一考察—数詞および代名詞から始まる名詞句の場合—」『北洋大学紀要』 2: 3-15, 2023. Multifaced phonological characteristics of /g/ in Mongolic languages. <i>Altai Hakpo</i> 32: 99-117, 2022. 「モンゴル人日本語学習者による日本語の語中閉鎖音の帯気性と有声性」『北洋大学紀要』 1: 3-16, 2022. The phonetic and phonological characteristics of liquids in Khalkha Mongolian. <i>Northern Language Studies</i> 12: 83-94, 2022. The perception of word-initial aspiration contrasts in Mongolian: The effect of voice onset time and following vowels. <i>Altai Hakpo</i> 31: 155-175, 2021. Rhythm in Mongolian proverbs: Functions of syllables and morae. <i>Asian and African Languages and Linguistics</i> 15: 77-92, 2021. 「モンゴル語の母音に関する総合的研究」（講演要旨）日本音韻論学会（編）『音韻研究』 97-98. 東京：開拓社, 2021. The merger between /ʊ/ and /o/ in Khalkha Mongolian: A study based on an acoustic analysis and a perceptual experiment. <i>Northern Language Studies</i> 11: 167-180, 2021. 「モンゴル語を母語とする日本語学習者の清音 - 濁音の音声—語頭閉鎖音の VOT と母音の無声化—」『音声言語の研究』 14: 1-12, 2020. 「民和土族語における帯気性の対立の音声的特徴」『言語記述論集』 12: 51-70, 2020. 「モンゴル語ハルハ方言の語中閉鎖音の音声的バリエーションと音韻解釈」『日本モンゴル学会紀要』 50: 1-18, 2020. The acoustic realization of preaspiration in Khalkha Mongolian. <i>Northern Language Studies</i> 10: 99-115, 2020. 『モンゴル語の母音—実験音声学と借用語音韻論からのアプローチ』京都：京都大学学術出版会, 2019. Voice onset time of word-initial stops and affricates in Khalkha Mongolian. <i>Journal of the</i>

Phonetic Society of Japan 22 (2): 131–140, 2018.

15. 「モンゴル語ハルハ方言の語頭阻害音の対立における F0 と F1 の特徴」『言語記述論集』10: 81–95, 2018.

②一般書／新聞記事

1. 「言語習得の仕組み学ぼう 北洋大で公開講座」『苫小牧民報』2022年12月5日付.
2. 倉田誠（編）『映画でひもとく英語学』（分担執筆）東京：くろしお出版, 2022.
3. 「新生・北洋大 地域に伝えたい」『北海道新聞（苫小牧日高）』2021年4月22日付朝刊.
4. 「夢に向かって挑戦 苫駒大から改称 北洋大入学式 1期生31人でスタート」『苫小牧民報』2021年4月5日付.

③学会発表・講演

1. 「英語の擬音語と音象徴」日本比較文化学会北海道支部大会 特別講演会：「映画でひもとく受験英語・TOEIC」. 北洋大学. 2023年2月23日.
2. 「強勢衝突と OCP -Stress clash and OCP-」2022年度第2回メビウス研究会『映画でひもとく英語学』出版記念講演「映画のセリフに垣間見ることばの世界」. 京都外国語大学. 2022年12月3日.
3. 「母音の無声化とピッチとの関連性—モンゴル語を母語とする日本語学習者の発音から—」第36回日本音声学会全国大会. 神戸学院大学ポートアイランド第1キャンパス. 2022年9月25日.
4. The phonetic characteristics of aspirated and unaspirated stops in Khalkha Mongolian, Inner Mongolian, and Northern Chinese. The 8th International Conference on Asian Studies. (ICAS 2022. Online, 29 April 2022.
5. 「日本語非母語話者のためのアカデミックライティングデスク実践報告」（共同発表）第28回大学教育研究フォーラム. オンライン. 2022年3月16日.
6. 「モンゴル人日本語学習者の清音 - 濁音の音声」国際言語文化学会第9回大会. オンライン. 2022年1月8日.
7. 「モンゴル語ハルハ方言の /ɣ/ の音声と音韻」日本北方言語学会第4回大会（兼国際シンポジウム）. 北海道立北方民族博物館. 2021年11月7日.
8. 「英語発音に対する正しい理解と指導に向けて—音声学からの分析—」（共同発表）日本比較文化学会北海道支部第1回研究発表会. 北洋大学. 2021年9月25日.
9. Phonological structure of /g/ in Mongolic languages. Seoul International Altaistic Conference 2021. Online, 16 July 2021.
10. The merger between /ʊ/ and /o/ in Khalkha Mongolian: A study based on a perceptual experiment. 2020 Conference of Altaic Society of Korea. Online, 5 December 2020.
11. 「モンゴル語ハルハ方言の /ʊ/ と /o/ の合流—知覚実験に基づく検討—」日本北方言語学会第3回大会. オンライン. 2020年11月7日.
12. 「モンゴル語の母音に関する総合的研究」音韻論フォーラム 2020 博士取得者講演. オンライン. 2020年8月29日.

13. 「モンゴル語ハルハ方言の前気音の音声的特徴」日本北方言語学会第 2 回研究会. 富山大学. 2019 年 11 月 9 日.
14. 「モンゴル語のことわざにおけるリズム」フィールド言語学ワークショップ: 第 15 回文法研究ワークショップ「言葉遊びと音韻論 (1)」. 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所. 2019 年 9 月 24 日.
15. VOT and F0 in the aspiration contrast in Khalkha Mongolian. The 14th Seoul International Altaistic Conference. Chonbuk National University, 22 July 2019.
16. 「モンゴル語における語中閉鎖音の帯気性の知覚」日本音声学学会第 339 回研究例会. 大東文化会館. 2019 年 6 月 1 日.
17. 「帯気性の対立におけるインテンシティーの特徴—モンゴル語ハルハ方言のデータをもとに—」第 14 回音韻論フェスタ. 明海大学. 2019 年 3 月 5 日.
18. 「中国語・内モンゴル語・モンゴル語の語頭閉鎖音における VOT の差異」日本言語学会第 157 回大会. 京都大学. 2018 年 11 月 17 日.

④学会等における活動

1. 北海道立北方民族博物館 研究協力員. 2022 年 7 月 22 日～2026 年 3 月 31 日.
2. 日本音韻論学会事務局 (会計担当). 2022 年 7 月 1 日～現在に至る
3. 日本音声学学会庶務委員. 2022 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日.
4. 日本音声学学会音声学普及委員. 2022 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日.
5. 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 共同利用・共同研究課題 (課題名: 「通言語的観点からみた音声類型論」) 共同研究員. 2021 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日.
6. 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 共同利用・共同研究課題 (課題名: 「モンゴル諸語における変容—外的要因と内的要因」) 共同研究員. 2018 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日.
7. 日本学術振興会特別研究員 (PD). 2017 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日.

⑤社会活動

【講演等】

1. 「わたしはこうやって言語を学ぶ! ～外国語の学習遍歴～」北洋大学公開講座. 北洋大学. 2022 年 12 月 15 日.
2. 「こどもはどうやって言語を学ぶ? ～母語の言語獲得～」北洋大学公開講座. 北洋大学. 2022 年 12 月 8 日.
3. 「日本語文法と日本語教育文法— “きる” の過去形は “きた”? “きった”? —」北洋大学「市民講座」～多文化創生のための日本語教育～. 苫小牧市文化交流センター [アイビー・プラザ]. 2022 年 11 月 17 日.
4. 「日本語の発音」早稲田大学日本語教育研究センター「わせだ日本語サポート」夜まつり. オンライン. 2022 年 7 月 8 日.
5. 「日本語の発音」早稲田大学日本語教育研究センター「わせだ日本語サポート」夜まつり. オンライン. 2021 年 12 月 9 日.

6. 『ありがとう』は本当に有難いのか—遊牧文化と言語— 北洋大学「市民講座」～言語と文化～. 苫小牧市文化交流センター [アイビー・プラザ]. 2021年11月11日.
7. 『あ』は『い』より大きい!?! 北洋大学図書館講座『水曜夜会』. 北洋大学図書館. 2021年7月14日.
8. 「日本語の発音」早稲田大学日本語教育研究センター「わせだ日本語サポート」夜まつり. オンライン. 2021年6月29日.
9. 「日本語の発音」早稲田大学日本語教育研究センター「わせだ日本語サポート」夜まつり. オンライン. 2020年11月19日.
10. 「日本語の発音」早稲田大学日本語教育研究センター「わせだ日本語サポート」特別企画 特別講義. オンライン. 2020年7月16日.
11. 「1年生・特別発音講座」モンゴル国立科学技術大学高専留学プログラム. モンゴル国立科学技術大学. 2019年3月15日, 19日.

【委員会等】

1. 苫小牧市少年指導センター指導委員. 2023年5月1日～2025年4月30日.
2. 苫小牧市社会教育委員. 2022年6月1日～2024年5月31日.
3. 苫小牧市環境審議会委員. 2021年6月1日～2023年5月31日.

⑥受賞歴

1. 第35回日本音声学会全国大会 優秀発表賞. 受賞決定 (2023年9月16日授与予定)
2. 日本北方言語学会第1回津曲敏郎賞 (北方言語学会研究奨励賞). 2022年11月26日.
3. 新村出記念財団重山文庫 新村出研究奨励賞. 2019年11月23日.